

上智大学 SPRING プロジェクト
持続可能な社会の未来を拓くグローバル博士人材育成

大学院進学という選択

上智大学大学院の魅力と 支援プログラム



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

博士人材が活躍する舞台は無限大！多様なキャリアが広がる大学院という選択肢

近年、社会や産業の高度化に伴い、専門知識に加え課題発見・解決力を備えた高度人材への期待が一層高まっています。上智大学は、人文・社会・自然科学が集うワンキャンパス、都心立地、国際ネットワークを強みに、多様な研究者や学生との交流を通じて専門性を深め異分野や社会との連携力を育み、未来を切り拓く研究者と高度専門職人材の成長を支えます。

上智大学大学院 博士後期課程学生からのメッセージ



研究も世界も、 自分らしく広げられる環境へ。

岸根 紗葵（キシネ サキ）

所属 実践宗教学研究科 死生学専攻（当時）

研究テーマ ファッションに現れる＜文化的スピリチュアリティ＞の探求—
死・身体・生を手がかりに

以前は、複数のアルバイトを掛け持ちしながら研究時間を確保する日々を送っていました。しかし、上智大学の博士後期課程支援制度であるSPRINGの採択を受けたことで、経済的な不安が軽減され、心身ともに余裕をもって研究に向き合えるようになりました。その結果、宗教学にとどまらず、ファッション研究をはじめとするさまざまな学会や研究交流の場に積極的に参加し、多くの研究者との出会いや議論を通して視野を広げることができました。こうした経験は、研究者として歩んでいく確かな礎となっています。

なかでも特に魅力的だと感じたのが、多彩なプログラムに参加する機会に恵まれたことです。上智大学のネットワークを通じた海外研修（SACRU、MIRAI、RENKEI）や分野横断型プログラムを通して、自身の専門分野では得られない視点や価値観に触れ、研究を多角的に捉える契機となりました。異分野の研究者との交流は、自らの研究を見つめ直し、その可能性を広げる大きな刺激となりました。



英語で挑み、 世界で広げる研究力。

藤井 真栄（フジイ シンエイ）

所属 理工学研究科 理工学専攻 物理学領域（当時）

研究テーマ 素粒子極限物質「クォーク・グルーオン・プラズマ」に関する
理論的研究

SPRINGの支援を通して、私の研究生活は大きく変わりました。能力開発支援や交流の機会など、多彩なサポートによって視野が広がり、研究に対する意識も一段と高まりました。中でも特に大きな成長につながったのが、英語での発表や議論の機会です。SPRING学生同士の発表・質疑応答は原則、英語で行われ、専門分野を越えた意見交換を重ねることで、国際的な視点と発信力が自然と身につきました。こうした環境は、将来グローバルに活躍する研究者として欠かせない力を養う貴重な経験でした。

さらに、研究費の支援により国際会議への参加も実現しました。インドで開催された国際会議では口頭発表を行い、各国の研究者から直接フィードバックを得ることで、自身の研究を新たな角度から見つめ直す機会となりました。異文化の中で得た学びや刺激は、研究だけでなく視野そのものを大きく広げてくれました。



Sophia SPRING Project とは



キリスト教ヒューマニズムのもと、グローバル博士人材を育成

キリスト教ヒューマニズムのもと、「他者」に寄り添い、科学技術・イノベーションの力によって持続可能な社会の未来を拓くグローバル博士人材を育成。

■経済的支援

研究奨励費	+	研究費
生活費相当額を支援：月額18.5万円		研究費を支援：年額20万円（上限）※

※ 研究実績に応じて研究費が追加配分される場合があります。例）2025年度実績：最大50万円程度

■博士後期課程学生向け能力開発プログラム

専門性（自分の研究）		
+		
学際性	国際性	人間性
博士後期課程学生の視野を広げる学際性の醸成とネットワークの形成 ・ SPRING選抜学生との分野横断型のコミュニティづくり ・ 学内外PDや若手研究者を含む学内若手研究者交流プログラム など	博士後期課程学生向けの国際研究・国際交流の機会の提供 ・ 海外大学研究室派遣 ・ 国際共同研究ワークショップへの参画 など	博士後期課程学生の能力を最大限引き出すトランスファラブルスキルプログラムの提供 ・ コミュニケーションやプレゼンテーションスキルの向上、アントレプレナーシップ ・ 社会人向け講座の提供 など

■キャリア支援

- ・ 博士課程専用キャリア相談員の配置
- ・ ジョブ型研究インターンシップ科目の設定
- ・ その他国際機関等へのインターンシップ
- ・ 博士課程向けキャリアセミナー開催

上智大学の国際研究ネットワーク

■UNESCO Chair

海外8機関と連携する上智大学ユネスコチェア。人間の尊厳、平和、サステイナビリティをテーマに、ユネスコと連携して世界とつながる教育・研究を展開しています。

■SACRU

世界のカトリック研究大学9大学が連携する国際ネットワークSACRU。グローバル教育や学際研究を推進し、社会課題の解決と公益のための知の創造に取り組んでいます。

■MIRAI

日本7大学とスウェーデン10大学が結集する国際共同研究ネットワークMIRAI。世界が直面する課題に挑み、国境を越えた研究協力と知の創造を推進しています。

■RENKEI

日本6大学と英国6大学を結ぶ大学連携ネットワークRENKEI。多様な機関との協働を通じて国際共同研究を推進し、世界が直面する課題の解決に挑んでいます。



RENKEI ワークショップで発表する博士後期課程学生

大学院進学を考えるあなたへ

大学院生研究活動支援制度とは

上智大学では、大学院生を若手研究者と位置づけ、研究活動を支援する4つのプログラムを提供しています。国内外での積極的な研究活動とその成果発信の支援を通して、多方面で活躍する次世代高度人材の育成を目指します。

■学会発表支援プログラム（博士後期課程：上限15万円、博士前期課程・修士課程：上限10万円）

- ・国内外で開催される学会等で発表する際の旅費（交通費、宿泊費等）を支援
- ・支援額は旅費の総額に応じて千円単位で支援

■外国語による研究成果公表支援プログラム（上限10万円）

- ・論文投稿や出版、もしくは学会等において外国語で研究成果公表を予定している者に対し、原稿の校閲・翻訳・投稿・掲載・オープンアクセス・別刷等に要する経費実費を支援

■日本学術振興会特別研究員申請支援プログラム（5万円～15万円 ※申請・採否状況により異なる）

- ・日本学術振興会特別研究員を目指す者が対象
- ・初めて申請する者～採択者まで幅広く支援
- ・支援額の範囲内で、研究活動に要する各種経費実費を支援

■フィールド調査支援プログラム（国内：上限10万円、海外：上限20万円）

- ・国内外で行うフィールド調査、聞き取り調査等に関する費用を支援



大学院生対象の奨学金

■上智大学大学院博士後期課程研究者育成奨学金 【博士後期課程／新入生・在学生対象】

上智大学の研究と国際的な発展を牽引する卓越した研究能力を有する優秀な研究者を育成すべく、博士後期課程に在籍する正規生かつ要件を満たす者すべてに奨学金を給付し、その研究活動を奨励します。

上智大学大学院 研究科

- | | | | |
|---------|-----------|--------------------|------------------|
| ・神学研究科 | ・文学研究科 | ・実践宗教学研究科 | ・総合人間科学研究科 |
| ・法学研究科 | ・経済学研究科 | ・言語科学研究科 | ・グローバル・スタディーズ研究科 |
| ・理工学研究科 | ・地球環境学研究科 | ・応用データサイエンス学位プログラム | |

▶各研究科の紹介はこちらから <https://www.sophia.ac.jp/jpn/academics/g/>

